



労働の問題

問1 2010年10月1日現在の神奈川県民の就業者は約414万人でした。では第1次・2次・3次産業の就業者の多い順は次のどれでしょうか。

- ① 第1次産業・第2次産業・第3次産業
- ② 第2次産業・第3次産業・第1次産業
- ③ 第3次産業・第2次産業・第1次産業

問2 2009年7月1日現在の神奈川県に従業者数について、産業分類別の従業者数の多い3産業のうち、男女別構成比がほぼ同率のものはどれでしょうか？

- ① 製造業
- ② 卸売，小売業
- ③ 医療，福祉

問3 神奈川県就業者数について、1995年から2010年までの5年毎の推移のうち、正しいものはどれでしょうか。

- ① 男性就業者が増加傾向にある。
- ② 女性就業者が増加傾向にある。
- ③ 男性・女性ともにほぼ横ばいである。

問4 2010年10月1日現在、神奈川県15歳以上の労働力人口を見ると、女性の労働力人口の割合が最も高いのは25歳～29歳の79.1%でした。では女性の労働力人口の割合が2番目に高いのはどの年代でしょうか？

- ① 20歳～24歳
- ② 35歳～39歳
- ③ 45歳～49歳

問5 2010年10月1日現在、神奈川県15歳以上の労働人口を就業上の地位別に見ると、45～49歳の男性の正規の職員・従業員の割合は80.0%です。では同じく45～49歳の女性の正規の職員・従業員の割合はどれでしょうか？

- ① 約33%
- ② 約50%
- ③ 約66%

問6 2011年の神奈川県一般労働者の賃金について、男性を100としたとき、女性はどのくらいでしょうか？

- ① 66.4
- ② 70.6
- ③ 73.4